

令和 7年度 デイサービスエプロン 合同運営推進会議資料

令和 7年 1月 17日 担当：松野亜矢子

当社の概要

当社は、2009年の12月にデイサービス事業所を開設し、現在に至ります。13名の小規模デイです。当施設は1日一回の散歩で季節を感じることに、温かいお食事の提供を大切にしています。

運営方針

利用者様にとって安全にかつ楽しく、居心地のよい場所であり、仲間と過ごす楽しさの中で一人一人が「ほっ」として、「キラッ」とでき、「また行きたい」と思えるデイサービスを目指します。個々の援助目標をスタッフ間で共有し、その方が在宅生活を継続できるように支援します。利用者どうしはもちろん、スタッフや地域の方々とのつながりを大事にします。という基本方針をスタッフ全員で共有しております。

利用者数状況報告

当施設は1日定員13名で、1日のご利用者数は平均10～11名です。

9月以降入所されデイサービス終了の方が4名。1日の平均利用者数を9月10月は計画の10.9名を上回ることはできませんでしたが、新規の方も増え11月からは計画を達成しています。

現在の登録人数は36名となっております。

ご利用者の内訳

総合事業の方が5名。要介護1の方が7名、要介護2の方が10名、要介護3の方が10名、要介護4の方が4名
年代別では70代が3名、80代が16名、90代が14名、100歳の方が3名です。

入退所報告

令和6年度（令和6年7月まで）新規利用者3名 退所者2名です。

職員構成

管理者兼務生活相談員 各1名 常勤介護生活相談員兼務介護スタッフ 4名 非常勤生活相談員兼務介護スタッフ2名 非常勤介護スタッフ8～10名 調理スタッフ6名 看護師兼務機能訓練指導員3名 歯科衛生士1名。勤続年数は5年以上の職員が多いです。

比較的休みを取りやすく、家庭との両立がし易い職場だと思います。各職員の人間関係も円滑です。チーム会議（看護師、調理、介護スタッフ、ドライバー）と各担当の会議を細目に行い、情報共有をしています。

事故ヒヤリハット報告

今年度は練馬区へ事故事例の報告は無し。

高齢者虐待防止・個人情報の保護報告についての報告

入職時にご利用者の尊厳と介護者としての質を守るための論理規定及びマニュアルに基づき研修を行っております。高齢者虐待防止委員会を開催し、年に1回東京都の高齢者虐待防止の研修を受講し、会議で共有しています。ご家族からの虐待の恐れのあるご利用者様もおられます。地域包括支援センターの方や担当ケアマネージャーの方と連携を取り、文書や電話でこまめに連絡を入れています。虐待の恐れのある方の身体の傷等には職員も留意し、記録は必ず残し、必要に応じて利用者様へお声かけをして、写真を残すようスタッフで共有しております。

行事、レクリエーション等報告

5類にはなりコロナ禍で中止にしていた手づくりのおやつ作りを再開し始めました。外出プログラムはほぼ通常通りにもどしています。

防火安全体制の構築について

毎月、地震訓練、避難訓練を実施しています。

年に2回（今年度4月と10月）Xデイ訓練とし、震度6弱の地震が発生した事を想定し、その時の自分

の動きをシュミレーションして報告してもらうこと。 災害伝言ダイヤルの聞き方の確認をしています。

活動内容

午前：11時頃に皆さんがそろうまでは、壁面飾り作りなどをお願いしています。コロナ禍の前は昼食づくりのお手伝いもお願いしていました。11時頃より天気によければ毎日近隣の三原台公園まで歩行訓練へでています。

毎月、車で、練馬区内の季節の花などを見に出かけています（石神井B球場へ八重桜をみに、松の風公園新緑をみに外出を実施しました。松の風公園へは助六弁当持参しお昼に召し上がりました。7月にはふるさと文化館へでかけました。

午後：活動の前には必ず指体操や身体を使った体操を行い、認知症予防の効果を高める工夫をしています。

曜日によって異なりますが、麻雀や作り物、ゲーム、歌など、その日のご利用者様に合わせて実施しています。

食中毒対策について

日々の衛生管理を行っております。食材はすべて加熱し原則生ものは出しません。

魚や肉を切るまな板とそれ以外のまな板は分けています。

まな板類、布巾類は毎日消毒液に漬けて消毒しています。

食器などは80℃の食器消毒保管庫で消毒もおこなっております。

保存食として50gを2週間取り置きもしています。

新型コロナウイルス対策について

5類になりましたが当デイでは、5類になる前と変わらず施設内の消毒・換気を徹底し、出入り口には網戸を設置し、できるだけ少し開けるようにしております。二酸化酸素測定器を設置し、換気は注意するようにしております。

研修計画について

キャリアパス資質向上に関する取り組みを行っております。

練馬区の研修センターで研修を受講しています。特に認知症研修や高齢者虐待防止、身体拘束の研修は必須として受講しています。認知症加算を取得しているため、東京都の認知症実践者研修の受講をしています。

昨年度より資格がないスタッフには東京都の認知症基礎研修の受講をお願いしました。

ご利用者への連絡

連絡ノートで日々の活動をお知らせし、外出など行事の写真をお渡ししています。

体調の変化は、連絡帳にも記載させていただきますが、お電話でもご家族へご連絡させて頂いております。

当施設の課題

安定した経営ができるようご利用者の増加を考えたいと思います。

と同時に、今在籍していただいているご利用者に対してもっときめの細かいサービスや、それぞれの課題に対応できるように体制を整えたいです。

地域交流について

エプロンとして地域活動としてエプロンまつりを開催しています。

非常災害時の対応について

水や備蓄食材、万が一ご家族との連絡が途絶えた時には連絡がつくまで1～2日位は当施設で過ごしていただけるように考えています。職員同士はXデイ訓練として、震度6弱の地震を設定し、その時の動向を確認しています。

人材について

生活相談員育成の為、介護福祉士受講を推奨しています。

利用者人数により勤務時間の調整を行ったり、採用については、退職者がいる場合、現在いるスタッフで調整し、難しい場合に考慮しています。